



<http://www.color-science.jp/branch/kansai/img/20190906.pdf>

第5回 より戦略的なカラーマーケティング

令和2年2月22日に実践色彩講座2019第5回講座を開講しました。各講義とも予定時間をオーバーして多くの質問があり、いつものように活発な議論がなされました。最後に、講座を3回以上受講された方に修了証書が授与されました。

山本暁美 (atelier MARIFU)

①森下あおい氏（滋賀県立大学 教授）

ファッションデザイン画における色彩の推移と傾向



色彩講座では初めての分野である「ファッションデザイン画」について、各時代のファッション感覚が現れる〈形態〉と〈色彩〉、2つの視点からの分析法をご講義頂いた。デフォルマシオン(意匠的変形)されたモノクロのデザイン画から色彩を予測する研究には受講生の関心も高く、グレーの明度が統一されていないことや、色と形の関係性など、活発な質問があがつた。また、深層学習を用いたファッション分野の最新の研究もご紹介頂いた。

②能口祥子氏（きものカラーコーディネーター協会 代表理事）

きものと色彩 現代の着物マーケットにおける色彩とデザイン傾向



江戸時代から現代までの着物の種類と、模様と紋による格付けなどの講義の後、数十色以上の色無地反物や絵付けに使用する型紙など多彩な資料を実際に手に取って拝見した。変化する着物業界の流通形態や、伝統工芸が直面する後継者不足・材料の枯渇などの問題が着物の製作現場にも及んでいることを解説頂いた。

伝統美を纏った着物姿のモデルには歓声があり、専門的な染色技法などの質問が相次ぎ、興味が尽きない講座であった。

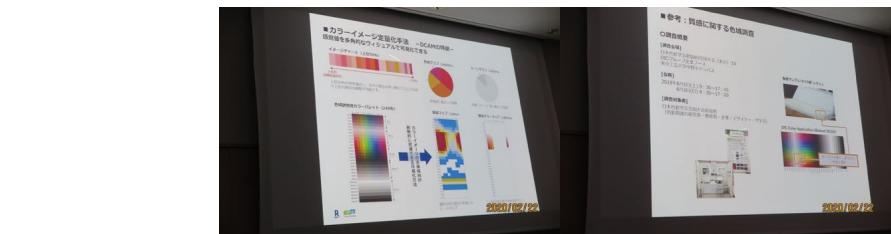
③竹下友美氏（DIC カラーデザイン(株) カラープランナー）

色彩分析とカラーマーケティングの実際



カラーマーケティングの視点から、五感との結び付きが深い「色」のイメージを定量化する手法を解説頂き、機能性飲料と自動車という身近な事例から、キーワードを軸にした大規模なオンラインアンケートなども含めて、実際の調査の流れを詳細な資料と共にご紹介頂いた。

昨年の全国大会の企業展示での「質感(触感)からイメージする色」の体験で興味を持ち、今回の講座をお願いすることになったが、色彩関連の企業の最前線の活動や研究を知る貴重な機会となり受講生からも好評であった。



修了証書

あなたは日本色彩学会関西支部
主催実践色彩講座2019「考える、
わかる、使える"色彩学"」において
所定の課程を修了されたのでこれ
を証します

令和2年2月22日



实行委員会 池田麻穂、篠田理子、山野理美子、近藤孝之、
上原友紀、宮崎圭子、西 哲也、鶴川玲子、
飯田博之、山口明弘、山本博美